

Hiroko の “お金について Q & A”

私は日本、英国、カナダ3か国で、30年余り金融会社一筋に働いてきました。お金、金融、投資、保険に関して、日常はてなと思うようなことを、何でもお気軽にご質問ください。



Q: 前回の記事で英国のEU離脱決定後、金 (Gold) 相場が上昇し始めたということが書かれていました。それで、ぜひ金に投資したいのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A: 英国のEU離脱問題で世界経済の不透明感が高まり、安全資産として、金 (Gold) が上昇しています。金もそうですが、それ以上に騰勢を強めているのが、銀相場です。現在、1トロイオンス (31g) の金価格はUS\$1,350、銀はUS\$20。金は年初来、20%とじりじり上昇、銀は年初来40%と急上昇し、2年ぶりの高値を付けています。銀は歴史的な割安感が強く、どこかの国が買い占めているとのことで、まだまだ上昇が続くと見られます。

世界の金の保有量は16万トンと言われ、量にするとオリンピックプール3杯分程度となり、金の埋蔵量はまだ、7.5万トンほどであると推定され、現在のペースで掘れば、約25年で掘りつくされる計算です。

米ドルの世界覇権の対抗馬として欧州勢が団結、ドルに替わるべくユーロは、1999年華々しくデビューしました。産油国も一時は決済をユーロでと要求するほど強勢を誇りましたが、17年経った今、ユーロは存亡の危機に瀕しています。ずっと戦争を繰り返してきた国々が仲良く、同じ通貨を使うことで領域内経済力も活性化されたのですが、経済格差のある国まで次々入りだし、身分不相応の共通通貨を持つにいたりほころびが出始めました。また、英国はユーロ通貨圏には入りませんでした。東ヨーロッパからの移民が押し寄せるにいたり、国民は離脱を決意しました。結局、EU、ユーロはユートピアだったのでしょうか。

欧州債務危機、英国EU離脱でユーロは売られるばかり。

円は今では買われていますが、長期的には災害と高齢化、国家財政破綻で暴落するかもしれません。スイスフランは高くなりすぎ、ユーロにペッグし、世界には安心して買える通貨がなくなりました。余りにも巨額なお札が乱発されたため、紙幣の価値が下がり、リスクヘッジとして金を買われています。

投資資金が米ドル、米国債に向かい、金、銀の現物資産にシフトし、金は唯一の将来のインフレヘッジとみなされ今後も上昇が予想されます。

金本位制がくずれて45年、経済が行きづまればお金を印刷し、お札が垂れ流された結果、より高いリターンを求めて世界中を駆けめぐり、あちこちでブーム/バストを引き起こす。行き場のないお金が金、銀に向かうという構図です。

米国は唯一の世界の基軸通貨としてドルの増刷を続け、ドルにかわる通貨がないので、ドルの地位は揺るぎなく、ユーロにはそれを支える強大な国家権力がないのが弱点です。金5千年の歴史、米にはドル200年の歴史と世界一の軍事力があり、その上、旧共産圏、中東もドル体制に組み込まれました。米は財政、貿易の赤字を垂れ流し、その結果としてドルが世界に流出し、新興国、特に中国の経済成長を助けました。

欧州の不透明感が続く限り、ドルやユーロが売られ、破綻懸念とは無縁な金、銀に資金が流れ込む動きが続くと見られます。

新興国が外貨準備として年間500トン前後の金を購入しており、これが金価格の長期上昇トレンドを支える要因で、インド、中国の2カ国で年間金生産量2800トンの6割を買い占めます。金は短期的には乱高下を繰り返しながら、長期

的には右肩上がりのトレンドが続くでしょう。高値になると欧米の投資家が売りを出し、アジアの実需が押し目で買いを入れるというパターンです。

数年後には日本の債務危機が世界の金価格を左右する時代が来るかもしれません。円の暴落には金保有は有効なりスクヘッジだと考えられます。

金は世界中どこでも売れ、ドルなどの通貨に替えられ、「世界に通用するおカネ」として普遍的な価値を持っており、株式、債券は“紙くず同然”になる得るリスクがありますが、金の価値がゼロになることはないです。逆に永遠の輝きが増す安全資産というのが最大の魅力。

金投資のポイントは短期的には金のETF購入、長期的には金現物保有か金、資源物の投資信託での資産運用がお勧めです。カナダ政府発行のメープルリーフ金貨は純度99.99%で世界一の流通量があり、信用があるので、それを集めるのもいいです。また、金が高くて手がでないという人には、銀貨、銀現物、銀ETF、銀鉱山株を買うのも投資妙味があります。

世界的に有名な投資家のソロスは、最近、金の現物と金鉱山株に絞って資金を移しているといわれています。

重要なお知らせ

カナダ政府の税改正により、カナダの保険法が改訂されるため、2017年1月1日から、保険料が高くなります。生命保険に入っていない方は今年中に入ったほうが割安となります。また、掛け捨て保険は今年中に終身保険に転換した方がお得です。

生命保険のお見直し、ご質問等はお気軽に、下記までお問い合わせください。

CANADA e INVEST.com

投資アドバイザー

小林ヒロコ

604-727-2320

moxeyh@shaw.ca

